



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 株式会社 大水 上場取引所 大  
 コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務広報部長 (氏名) 小田 幸一 (TEL) 06-6469-3000  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	33,749	0.3	21	-	62	-	19	-
22年3月期第1四半期	33,658	△18.7	△187	-	△126	-	△30	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	1	43	-	-
22年3月期第1四半期	△2	23	-	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	21,137	3,716	3,716	17.6	269	90		
22年3月期	21,213	3,809	3,809	18.0	276	61		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,716百万円 22年3月期 3,809百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-	0	00	-	0	00
23年3月期	-					
23年3月期(予想)		0	00	-	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有・無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	68,000	0.1	25	-	70	-	10	-	0	73
通期	143,500	1.8	590	75.1	650	51.9	560	74.5	40	67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有・無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	15,324,819株	22年3月期	15,324,819株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	1,554,067株	22年3月期	1,552,509株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	13,771,237株	22年3月期1Q	13,866,960株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、輸出や設備投資など一部に持ち直しもみられましたが、雇用環境や所得環境は依然として厳しく、不透明な状況が続いております。

当水産流通業界においても、消費者の節約志向、低価格志向を背景に、荷動きが低調で魚価の十分な回復には至らず、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは高品質商品の確保を目指し、積極的に営業活動を展開するとともに、グループ各社の総力を結集して業務の効率化、経費の削減、在庫管理及び債権管理の徹底を推し進め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高がほぼ前年同期並の337億49百万円（前年同期比0.3%増）となり、保管料等の経費と販売費及び一般管理費の削減により、営業利益21百万円（前年同期は1億87百万円の営業損失）、経常利益62百万円（前年同期は1億26百万円の経常損失）となりました。また、特別利益に貸倒引当金戻入益を70百万円計上し、特別損失に投資有価証券評価損を80百万円計上したことにより四半期純利益は19百万円（前年同期は30百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループの報告セグメントが水産物販売事業のみであり、当社グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて76百万円減少し、211億37百万円となりました。これは商品及び製品が増加したものの現金及び預金、投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて16百万円増加し、174億20百万円となりました。これは未払費用が増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べて92百万円減少し、37億16百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が1億12百万円減少したこと等によるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

##### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を52百万円計上し、その他の負債が2億29百万円増加したものの売上債権が1億77百万円、たな卸資産が2億62百万円増加し、賞与引当金が1億38百万円減少したこと等により、2億93百万円の支出（前年同期は5億59百万円の収入）となりました。

##### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出のため1億円減少したこと等により、1億7百万円の支出（前年同期は1億10百万円の収入）となりました。

##### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは長期・短期借入金の増加等により、12百万円の収入（前年同期は10億29百万円の支出）となりました。

##### ④現金及び現金同等物

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は14億93百万円（前連結会計年度末比3億88百万円減少）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月18日付の「平成22年3月期決算短信」に公表いたしました予想を下回る見込みとなりましたので修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成22年8月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判定に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・会計基準等の改正に伴う変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,693	1,981
受取手形及び売掛金	10,200	9,957
商品及び製品	1,981	1,719
繰延税金資産	194	207
その他	158	144
貸倒引当金	△222	△229
流動資産合計	14,006	13,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	992	1,014
土地	3,388	3,388
その他（純額）	205	219
有形固定資産合計	4,586	4,622
無形固定資産	73	76
投資その他の資産		
投資有価証券	2,357	2,626
長期貸付金	313	314
破産更生債権等	2,406	2,420
固定化営業債権	851	902
繰延税金資産	28	19
その他	54	55
貸倒引当金	△3,542	△3,605
投資その他の資産合計	2,469	2,733
固定資産合計	7,130	7,432
資産合計	21,137	21,213

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,120	7,119
短期借入金	4,861	4,824
未払金	412	454
未払法人税等	25	50
未払費用	347	65
賞与引当金	71	209
その他	216	173
流動負債合計	13,056	12,898
固定負債		
長期借入金	466	471
退職給付引当金	2,882	2,914
役員退職慰労引当金	80	94
長期預り保証金	384	390
再評価に係る繰延税金負債	430	430
繰延税金負債	9	77
その他	111	126
固定負債合計	4,364	4,506
負債合計	17,420	17,404
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	2,012	2,012
利益剰余金	666	647
自己株式	△699	△698
株主資本合計	4,332	4,313
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	145	257
土地再評価差額金	△761	△761
評価・換算差額等合計	△615	△503
純資産合計	3,716	3,809
負債純資産合計	21,137	21,213

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	33,658	33,749
売上原価	32,115	32,149
売上総利益	1,543	1,600
販売費及び一般管理費	1,730	1,579
営業利益又は営業損失(△)	△187	21
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	66	47
受取賃貸料	32	25
天然ガス売却額	19	15
その他	7	2
営業外収益合計	129	92
営業外費用		
支払利息	30	17
賃貸費用	15	16
天然ガス売却原価	20	16
その他	2	0
営業外費用合計	68	51
経常利益又は経常損失(△)	△126	62
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	70
役員退職慰労引当金戻入額	135	—
特別利益合計	135	70
特別損失		
投資有価証券評価損	—	80
特別損失合計	—	80
税金等調整前四半期純利益	9	52
法人税、住民税及び事業税	17	20
法人税等調整額	22	11
法人税等合計	39	32
少数株主損益調整前四半期純利益	—	19
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30	19



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9	52
減価償却費	54	46
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△162	△138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6	△32
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△135	△14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	△70
受取利息及び受取配当金	△68	△48
支払利息	30	17
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	80
売上債権の増減額 (△は増加)	514	△177
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△714	△262
その他の資産の増減額 (△は増加)	96	6
仕入債務の増減額 (△は減少)	705	4
その他の負債の増減額 (△は減少)	238	229
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15	25
小計	566	△280
利息及び配当金の受取額	69	48
利息の支払額	△33	△17
法人税等の支払額	△42	△44
営業活動によるキャッシュ・フロー	559	△293
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△100
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△1	△6
貸付けによる支出	△8	—
貸付金の回収による収入	120	1
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	110	△107
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	37
長期借入金の返済による支出	△5	△5
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△23	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,029	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△359	△388
現金及び現金同等物の期首残高	2,328	1,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,968	1,493

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。